

産肉能力に優れた県産種雄牛「北景茂」号

きたかげしげ

山形県農業研究研修センター畜産研究部

研究のねらい

優れた産肉能力を有する県産種雄牛の作出を行い、その精液を安定的に供給することによって、「総称 山形牛」のブランド確立と県内肉用牛経営の安定に資する。

研究の成果

山形市で生産され、農業研究研修センター畜産研究部で育成した県産種雄牛「北景茂」号の産肉能力検定間接法（検定種雄牛の去勢子牛8頭を約1年間肥育し、発育や肉質を調査してその種雄牛の能力を判定）を実施したところ、同じ県産種雄牛「安秀^{やすひで}165」号をしのぎ、脂肪交雑の能力が全国トップクラスの成績であることが判明した。



県産種雄牛「北景茂」号

（生年月日）平成9年10月28日

（登録番号）黒13061（82.1点）

（遺伝性疾患の有無）

B3-、F13-、CL16-、CHS1-、MCSU-

（血統）

父：北国7の8

母の父：景藤

母の母の父：茂重波

間接検定の結果（H13.5.21～H14.5.20、364日間）

	平均値	全国平均
終了時月齢(ヵ月)	20.9	20.7
1日当たり増体量(kg)	0.82	0.93
枝肉重量(kg)	349	357
ロース芯面積(cm ²)	54	47
バラの厚さ(cm)	6.7	6.3
皮下脂肪厚(cm)	2.0	2.1
歩留基準値	74.6	73.4
脂肪交雑(基準値)	3.7	2.6
備考	去勢子牛 8頭	H13年度検定 終了の65セット

脂肪交雑 5（多い） （少ない） 1

